

令和3年12月 斐伊川水系水質情報

令和3年12月(宍道湖:9日・中海:2日採水)							単位:mg/l(Chl-a: µg/l)			
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	3.9	△	やや低い	3.3	△	平年並み	3.9	△	平年並み
全窒素	上層	0.47	△	良好	0.37	○	良好(平年並み)	0.42	△	平年並み
全リン	上層	0.053	△	良好(平年並み)	0.038	△	平年並み	0.053	△	平年並み
Chl-a	上層	26	△	平年並み	14	△	平年並み	18	△	平年並み
塩化物イオン	上層	2,610	△	やや低い	13,400	×	やや低い	12,900	×	平年並み
	下層	2,830	△	やや低い	13,800	△	平年並み	13,000	△	平年並み
溶存酸素	上層	12.7		平年並み	9.1		平年並み	9.0		平年並み
	下層	11.7		平年並み	8.7		平年並み	8.9		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.1	横ばい	2.8	やや上昇	4.0	横ばい
全窒素	上層	0.30	上昇	0.30	やや上昇	0.33	横ばい
全リン	上層	0.023	やや上昇	0.030	横ばい	0.034	やや上昇

宍道湖の透明度は1.3mから1.7mと上昇。中海の透明度は3.2mから2.2mと下降し、平年並み。米子湾の透明度は2.3mから2.0mとやや下降し、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の2倍	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値	×	<やや高い>
平均値+標準偏差値 10年間平均値	△	<平年並み>
平均値-標準偏差値		ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。
平均値-標準偏差値の3倍	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ 95.5%

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ 99.7%